

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社  
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野琢雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 岩本純彦

TEL 03-6721-6988

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,056	13.9	1,310	46.7	1,291	44.4	789	39.9
25年3月期第3四半期	7,075	△9.2	893	△6.8	894	△1.2	564	24.8

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 805百万円 (43.3%) 25年3月期第3四半期 562百万円 (23.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	67.60	—
25年3月期第3四半期	48.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	14,407	9,594	66.6	821.36
25年3月期	13,687	8,964	65.5	767.38

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 9,594百万円 25年3月期 8,964百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	15.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	9.2	1,540	30.1	1,500	25.4	930	22.3	79.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	14,000,000 株	25年3月期	14,000,000 株
26年3月期3Q	2,318,692 株	25年3月期	2,318,681 株
26年3月期3Q	11,681,312 株	25年3月期3Q	11,681,328 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済の回復基調や欧州経済での底打ちの兆しが見られたものの、新興国経済の成長鈍化など先行き不透明感が続きました。また、国内経済は、円安・株高に伴う景況感や輸出の改善、生産の増加や企業収益の改善に加え、個人消費も底堅く推移し、緩やかな回復基調にあります。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、お客様の期待と信頼を獲得するため、社員一人一人が自分の責任を果たし、品質、スピード、実行にこだわり、グローバルな競争の中で、品質、価格ともに、どの国にも負けない競争優位の体制作りを進めてまいります。

販売面では、当社グループの主な市場である工作機械、産業機械、建設機械市場におきましては、国内需要が堅調に推移しておりますが、前年同期の売上高をやや下回る結果となりました。また半導体、液晶製造装置関連市場におきましては設備投資に前向きな傾向が見られ、市況がやや戻り受注も回復基調にあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は80億56百万円（前年同期比13.9%増）となり、営業利益は13億10百万円（同46.7%増）、経常利益は12億91百万円（同44.4%増）、四半期純利益は7億89百万円（同39.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

#### （静岡事業所）

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、受注が前年並みに戻ってきたため、売上高は16億19百万円（前年同期比46.3%増）となり、生産性の向上によりセグメント利益は4億25百万円（同120.5%増）となりました。

#### （岐阜事業所）

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しており、重点市場である産業機械・工作機械市場向けは、需要が回復基調にありますが、前年同期には及ばず、売上高は31億56百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は13億8百万円（同8.5%減）となりました。

#### （山形事業所）

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しておりますが、需要が回復したため、売上高は25億94百万円（前年同期比39.9%増）、セグメント利益は8億33百万円（同63.8%増）となりました。

#### （IPEC岐阜事業所）

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、需要は持ち直しの動きにありますが、前年同期には及ばず、売上高は8億87百万円（前年同期比11.2%減）、セグメント利益は1億86百万円（同18.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億19百万円増加し、144億7百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が12億13百万円増加したこと、現金及び預金が9億9百万円減少したこと、投資有価証券が3億17百万円増加したこと、有形固定資産が1億14百万円減少したことによるものです。

#### （負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ89百万円増加し、48億13百万円となりました。これは、主に買掛金が1億64百万円増加したこと、未払法人税等が1億33百万円増加したこと、賞与引当金が1億44百万円増加したこと、社債の償還により1億50百万円減少したこと、借入金の返済により2億78百万円減少したことによるものであります。

#### （純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億30百万円増加し、95億94百万円となりました。これは、主に利益剰余金が6億14百万円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表した予想数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,062	4,153
受取手形及び売掛金	2,003	3,217
商品及び製品	351	318
仕掛品	347	402
原材料及び貯蔵品	662	728
繰延税金資産	98	192
その他	98	152
流動資産合計	8,625	9,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,586	1,519
機械装置及び運搬具（純額）	507	485
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	133	111
その他（純額）	51	48
有形固定資産合計	3,700	3,585
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	606	923
長期貸付金	2	2
生命保険積立金	77	81
繰延税金資産	512	494
その他	47	44
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,245	1,545
固定資産合計	5,062	5,242
資産合計	13,687	14,407

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	335	499
1年内償還予定の社債	300	200
短期借入金	399	381
未払金	184	204
未払法人税等	236	370
賞与引当金	—	144
その他	94	173
流動負債合計	1,551	1,975
固定負債		
社債	50	—
長期借入金	1,241	980
退職給付引当金	1,472	1,436
役員退職慰労引当金	183	200
資産除去債務	54	54
長期預り保証金	170	166
固定負債合計	3,172	2,838
負債合計	4,723	4,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	8,511	9,126
自己株式	△1,742	△1,742
株主資本合計	8,951	9,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	11
為替換算調整勘定	4	17
その他の包括利益累計額合計	12	28
純資産合計	8,964	9,594
負債純資産合計	13,687	14,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,075	8,056
売上原価	4,961	5,497
売上総利益	2,113	2,559
販売費及び一般管理費	1,220	1,248
営業利益	893	1,310
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	2
為替差益	34	37
その他	5	3
営業外収益合計	42	44
営業外費用		
支払利息	17	12
売上債権売却損	8	7
持分法による投資損失	4	21
複合金融商品評価損	—	16
その他	10	5
営業外費用合計	40	62
経常利益	894	1,291
税金等調整前四半期純利益	894	1,291
法人税、住民税及び事業税	393	580
法人税等調整額	△63	△77
法人税等合計	330	502
少数株主損益調整前四半期純利益	564	789
四半期純利益	564	789



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	564	789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	12
その他の包括利益合計	△2	16
四半期包括利益	562	805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562	805

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3 四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜 事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,023	2,850	1,746	959	6,579	496	7,075
セグメント間の内部売上 高又は振替高	83	389	108	40	621	2	623
計	1,106	3,240	1,854	999	7,200	498	7,699
セグメント利益	192	1,430	508	229	2,361	117	2,479

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,361
「その他」の区分の利益	117
セグメント間取引消去	△478
全社費用(注)	△1,105
棚卸資産の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	893

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜 事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,509	2,814	2,461	852	7,638	418	8,056
セグメント間の内部売上 高又は振替高	110	341	133	35	620	4	625
計	1,619	3,156	2,594	887	8,258	422	8,681
セグメント利益	425	1,308	833	186	2,753	99	2,852

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,753
「その他」の区分の利益	99
セグメント間取引消去	△415
全社費用（注）	△1,128
棚卸資産の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	1,310

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。